

令和6年度 伊保内高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～すべての教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができる職場～

伊保内高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン（2024～2026）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

【定量的現状】

○時間外在校等時間 ・月80時間以上の者 R3年度5人で8月（回）【4.8%】
R4年度6人で9月（回）【5.4%】
R5年度2人で2月（回）【1.2%】

時間外在校等時間（週休日等の部活動指導従事時間を含む）

・月45時間超の者

R3年度10人で41月（回）【24%】

R4年度13人で46月（回）【27%】

R5年度11人で36月（回）【21%】

・年360時間超の者

R3年度9人【64%】

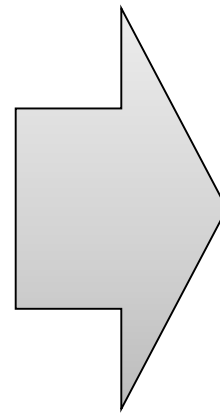
R4年度10人【71%】

R5年度9人【64%】

【定性的現状】

○教職員定数の減少や地域連携事業等の担当者の業務が多くなり、業務の平準化が進んでいない。

○ICT機器を導入して授業改善を目指しているが、一部の得意な教員による活用が多く、全教員にまで活用が進んでいない。



2 目標・目指す姿

＜目標＞

○時間外在校等時間の縮減

・時間外在校等時間月80時間以上の者ゼロ

・時間外在校等時間（週休日等の部活動指導従事時間を含む）

月45時間超、年360時間超の者を段階的に縮減

○業務への充実感や健康面での安心感の向上、教職員のウェルビーイングの確保

＜目指す姿＞

・授業や授業準備に集中できている

・健康でいきいきと業務を行っている

・業務にやりがいを感じている

・自分の家庭のための時間を十分に確保できている

・自分自身の自由な時間を確保できている

3 （2を達成していくための）具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・有給休暇及び振替休日取得率の向上を推進します。
- ・学校閉庁日の前後を含めた連続休暇や記念日等に休暇の取得を推進し、健康維持・増進を図ります。
- ・管理職による面談や積極的な声掛けにより、相談しやすい環境を整え、傷病・疾病の早期発見・治療を推進します。
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が35時間超となった教職員に対して、当該時間を知らせるとともに、健康確保の観点から、業務分担の見直しを検討します。
- ・健康相談事業等、職員の状況に応じ、共済保健事業の活用を促進します。

○ 学校における業務改善の推進

- ・管理職面談を通して、年度途中でも業務見直しと改善に取り組めます。
- ・部活動従事時間の軽減に向け、休養日の完全実施と練習内容の効率化や計画の見直しを検討します。
- ・業務のICT化を推進し、業務の効率化を進めます。
- ・定期的に、学校における働き方の取組状況を振り返る場を設定します（安全衛生委員会等）。
- ・会議の進め方について資料のデータ配布により合理化を図ります。
- ・管理職が、学校行事等の精選について積極的に提案します。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・学校運営協議会と目指す学校像の共有を図り、実現のための取組を協力して行います。
- ・伊高むらおこし会社の運営については、地域の理解・協力を得て対応します。
- ・地域連携業務に関して学校と九戸村の役割分担を明確にし、生徒の進路実現達成を目指す。
- ・教職員参加の地域行事等について、学校の実情を踏まえて精選等を行います。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう、積極的に呼びかけます。

4 アクションプランの周知方法

- ・プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・PTAを通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。

令和6年4月24日 岩手県立伊保内高等学校長 高橋 国博